

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 大積小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	4年：21名 5年：18名 6年：24名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科等名（総合的な学習の時間） ② 行事名（「オリンピック講演会」、「あすチャレ！ジュニアアカデミー」） ③ その他（ボッチャ体験） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・人生のステージにおける目標の設定や夢の実現、人生設計等の参考にしたい。また、世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成やスポーツを楽しむ心の育成を目指す。 ・共生社会の基本的な考え方を身に付ける。
5 取組内容	・キャリア教育の一環として捉え、様々な職業調べを行い、講演を聞いた。オリンピックの話聞くことによって、小学生、中学生、高校生、社会人、それぞれの人生のステージにおける目標の設定や夢の実現、人生設計等の参考にしたい。また、体験活動を取り入れ、スポーツを楽しむことも実感した。その後、様々な職種（14種）に就く社会人の話を聞く「キャリア教育授業」を行い、将来の目標設定や夢の実現への一助にした。



・「あすチャレ！ジュニアアカデミー」に向けて、「I'm possible.」を事前学習で用いた。そして「あすチャレ！」では、オンラインを活用して、パラアスリートから直接話を聞き、共生社会の基本的な考え方を学んだ。事後学習としてパラスポーツについて調べ学習を行い、実際にポッチャを体験した。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックやプロスポーツ、企業スポーツに対して理解することができた。また、スポーツの楽しさを味わうことができた。 ・職業の選択肢として考えられるようになった。 ・進んで体が不自由な人や困っている人を助けようという態度が育った。また、パラリンピックに対して知識が深まり、応援の仕方も理解でき、応援しようという意欲が高まった。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元出身のオリンピックを招聘したことにより、打合せもスムーズにできた。また、元選手とつながりのあるスポーツ協会の協力を得て、道具の借用もできた。 ・スポーツ経験のある教師も参加した。

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・当時（オリンピック参加時や現役時代）の映像資料など、もっと臨場感が欲しかった。（元選手の偉大さやオリンピックに出場することの難しさが分かりにくい。） ・リモート講演に関する設備の設定（カメラの調整）に苦労した。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育授業を昨年度から継続して実施し、成果を得ているので、オリンピック講演会は、来年度以降もそれと連携しながら、できれば継続して講演会や体験活動を実施していきたい。 ・「あすチャレ！ジュニアアカデミー」はオンライン授業でも選手との距離が近く感じられた。また、共生社会の基本的な考え方を身に付けることにとっても役に立つと考えられるので、継続して実施していきたいと考えている。